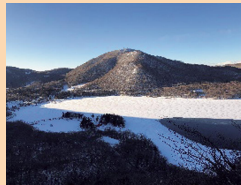


各教科の実践例

◆教科：国語（5年）

単元名		【書くこと】「日常を十七音で」
目標		赤城山登山や覚満淵の散策を通し、自分の感じた赤城山の自然を俳句に表す。
活動の流れ	事前	・生活の中で感じたことをもとに俳句を作る。 ・季語や表現の工夫について知る。
	当日	(1) 活動の確認 (2) 登山の安全確認 (3) 赤城山を歩く（登山、覚満淵の散策） (4) 目にしたものや風景、感動したものを具体的に書き留める。 また、感動した風景などをタブレットやカメラで記録できる場合は記録する。
	事後	・俳句を推敲し、よりよいものになるよう表現を工夫する。 ・俳句を友達と読み合い、感想を伝え合う。
	場所	地藏岳、長七郎、覚満淵、大沼、小沼等
準備		筆記用具、しおり（ワークシート）、タブレット、カメラ



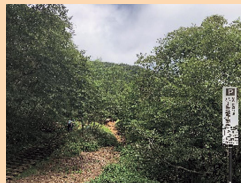
◆教科：体育（5年）

単元名		【けがの防止】「けがを防ぎ、安全に登山しよう」
目標		けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現する。
活動の流れ	事前	登山でのけがはどんなものが多いか、それらを防ぐためにはどのような行動をとればよいか、ブレインストーミングする。
	当日	(1) 活動の確認 (2) 登山の安全確認 (3) グループで事前に予測した危険箇所では回避できるように声を掛け合いながら登山する。
	事後	・学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 ・学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。
	場所	地藏岳
準備		筆記用具、しおり（ワークシート）



◆教科：社会（5年）

単元名		【わたしたちの生活と環境】「わたしたちの生活と森林」
目標		赤城山を登山したり、覚満淵を散策したりしながら、資料で調べた天然林と人工林の違いを実際に見て確認し、人工林には、枝打ちや下草刈りなどの手入れがしてあることに気づく。
活動の流れ	事前	・天然林と人工林について調べる。 ・森林の果たす役割について話し合う。
	当日	(1) 新坂平の赤城白樺牧場の話（有料講師有りの場合） (2) 登山における安全確認 (3) 登山しながら森の様子を観察する。 ・木の様子、森の様子などタブレットやカメラで記録する。 (4) 覚満淵及びビジターセンターの見学 ・覚満淵や周辺の森の様子をタブレットやカメラで記録する。 ・ビジターセンターを見学する。
	事後	・学習したことを整理し、新聞やノートにまとめる。 ・森林を守るために自分たちができることについて話し合う。
	場所	地藏岳、覚満淵、ビジターセンター
準備		筆記用具、しおり（ワークシート）、タブレット、カメラ



◆教科：図画工作（5年）

単元名		【心に残ったあの時、あの場所】「赤城山をスケッチしよう」
目標		赤城山登山を通して、心に残った風景や場所を思い浮かべ、そのとき感じた気持ちや思いに合う形や色などの造形的な特徴を捉えながら、工夫して絵に表す。
活動の流れ	事前	赤城山について事前に調べる。 (登山予定の山や白樺牧場、大沼、小沼、覚満淵等)
	当日	(1) 活動の確認 (2) 登山の安全確認 (3) 登りながら、気に入った風景や場所などがあれば写真を撮る。
	事後	・感じた思いなどが伝わるよう、形や色、構図など工夫して製作する。 ・完成した作品を友達と鑑賞し、伝え合う。
	場所	地藏岳
準備		筆記用具、しおり（ワークシート）、タブレット、カメラ

